

No.16-84

2016年11月30日
エーザイ株式会社

第39回サンアントニオ乳がんシンポジウムでエリブリンに関する最新データを発表

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、2016年12月6日から10日まで米国サンアントニオで開催される「第39回サンアントニオ乳がんシンポジウム(San Antonio Breast Cancer Symposium: SABCS2016)」において、当社が創製したエリブリンメシル酸塩(ハリコンドリン系微小管ダイナミクス阻害剤、製品名:「ハラヴェン®」、以下 エリブリン)に関する最新の臨床試験データを発表することをお知らせします。

主な発表として、エリブリンと免疫チェックポイント阻害剤ペムブロリズマブとの併用による転移性トリプルネガティブ乳がん患者様を対象とした臨床第I b/II相試験(218試験)に関する部分解析結果など、ポスター3演題(アウトカム研究を含む)が発表されます。

当社は、がん領域を重点領域の一つと位置づけており、がんの「治癒」に向けた革新的な新薬創出をめざしています。最先端のがん研究から革新的な創薬を行い、がん患者様とご家族、さらには医療従事者の多様なニーズの充足とベネフィット向上に、より一層貢献してまいります。

■SABCS2016における主な発表演題

製品・化合物	発表演題・予定日時(現地時間)
エリブリン 抄録番号: P5-15-02	転移性トリプルネガティブ乳がん患者を対象としたエリブリンとペムブロリズマブ併用投与の臨床第I b/II相試験 ポスター発表:12月9日(金) 17:00-19:00
エリブリン 抄録番号: OT2-02-02	ヒト上皮成長因子受容体2(HER2)陰性でヒアルロン酸が高発現している転移性乳がん患者を対象とした、エリブリンメシル酸塩単剤に対するエリブリンメシル酸塩とPEG化遺伝子組換えヒト型ヒアルロン酸分解酵素(PEGPH20)の併用療法に関する無作為化、非盲検、多施設共同の臨床第I b/II相試験 ポスター発表:12月8日(木) 17:00-19:00
エリブリン 抄録番号: P5-15-16	転移性トリプルネガティブ乳がん治療におけるエリブリンの利用とアウトカム: リアルワールドにおける研究結果 ポスター発表:12月9日(金) 17:00-19:00

以上